

2019年3月期第2四半期（累計）

（2018年4月1日～2018年9月30日）

決算説明資料

2018年11月12日



てくまる

人・街・未来をまもる



東洋テック株式会社

証券コード9686

# 目 次

2019年3月期 第2四半期決算トピックス	P 3
第2四半期決算トピックス	P 4
2019年3月期 第2四半期決算の概要	P 5~P17
第2四半期決算の概要	P 6
セグメント別売上高及びセグメント利益の概要	P 7
TEC単体及び子会社各社の業績	P 8
業務別売上高の状況(連結)	P 9
連結損益計算書(累計期間)の要旨	P10
営業費用・原価費用の状況	P11
(ご参考)営業外損益・特別損益の状況	P12
(ご参考)連結貸借対照表の要旨(資産)	P13
(ご参考)連結貸借対照表の要旨(負債・純資産)	P14
(ご参考)連結キャッシュ・フローの要旨	P15
(ご参考)経営指標の推移	P16
(ご参考)業績の推移(グラフ)	P18
2019年3月期 通期の業績見通し	P19
2019年3月期 通期の業績見通し	P20
株式の状況	P21
株式の状況	P22
配当金の推移	P23
対処すべき課題に向けた取組み	P24
『第10次中期経営計画』進捗状況	P25
対処すべき課題への取組み	P26~P30
当社グループの取組み(トピックス)	P31~P32

# 2019年3月期 第2四半期決算トピックス



### 1 8期連続増収

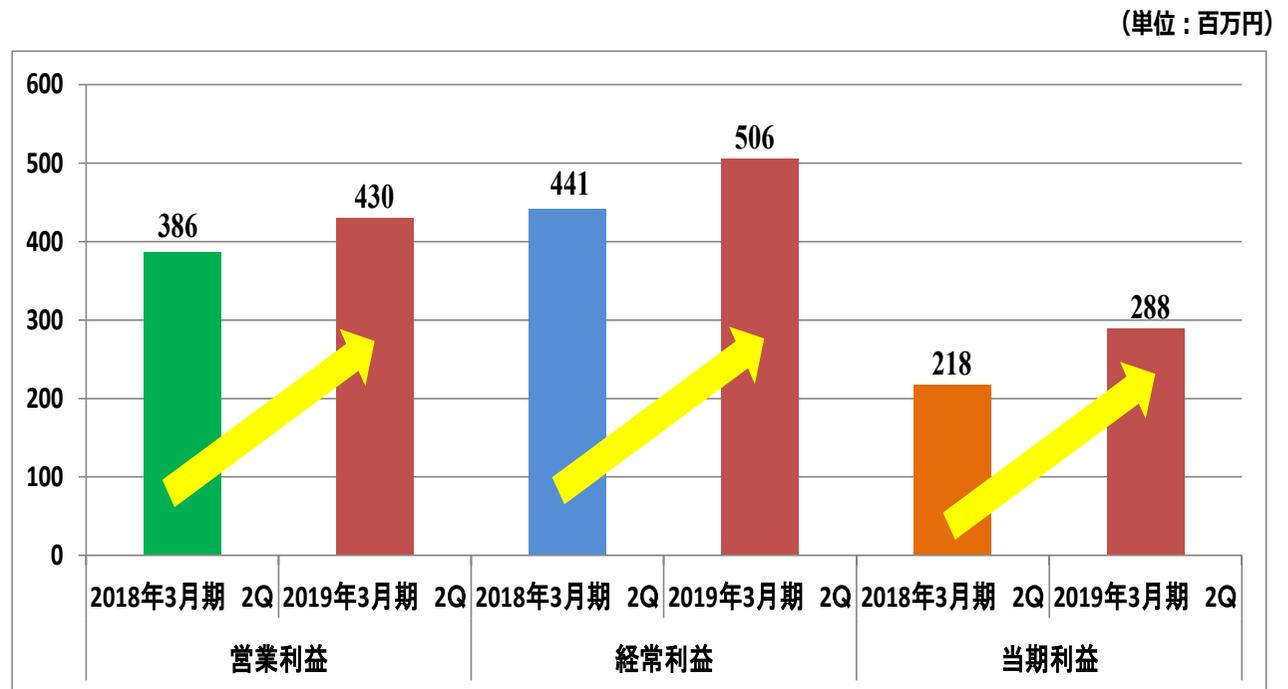
- ・ 中間期ベースで8期連続増収、過去最高売上を更新

### 2 常駐警備、工事・機器販売の業績寄与

- ・ 大型常駐警備、工事・機器販売において、前年度からの好調を持続

### 3 堅調な不動産業務

- ・ 大口の仲介案件はなかったが、不動産賃貸収入が安定的に寄与



## 2019年3月期 第2四半期決算の概要



## 第2四半期決算の概要

- ◆ 売上高は、ビル管理業務でスポット案件等の受注が低調でしたが、常駐警備、工事・機器販売が牽引した警備業務や不動産業務が堅調に推移した結果、売上高合計は、11,165百万円となり、前年同期比3.0%の増収となりました。
- ◆ 利益面では、外注費・人件費が増加しましたが、物件費等のコストコントロールが奏功した他、利益率の高い不動産業務の寄与もあり、営業利益は430百万円となり、前年同期比11.4%の増益。経常利益は506百万円、前年同期比14.9%の増益となりました。
- ◆ 四半期純利益は288百万円となり、前年同期比32.1%の大幅な増益となりました。

(単位：百万円、%)

	2018/3 2Q実績	2019/3 2Q実績	前年同期比	2019/3 公表数値	2019/3 公表進捗率
売上高	10,841	11,165	324	23,000	48.5%
営業利益	386	430	44	1,000	43.0%
経常利益	441	506	65	1,100	46.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	218	288	69	600	48.0%
1株当たり当期純利益 (円・銭)	20.58	27.05	6.47	56.57	—

# セグメント別売上高及びセグメント利益の概要



警 備 事 業	売上高は、機械警備・警備その他で前年度発生した大口先の解約や金融機関への値下げ等による減収要因がありましたが、工事・機器販売、常駐警備が好調に推移したことにより、増収となりました。 セグメント利益は、業容拡大に伴い人件費・外注費が増加しましたが物件費を中心としたコストコントロール効果もあり、増益となりました。
ビル 管 理 事 業	売上高は、スポット案件の受注不調や前期の大口失注影響もあり、減収となりました。 セグメント利益は、利幅拡大やロ・コストオペレーションに取り組んだ結果、前年同期並みを確保しました。
不 動 産 事 業	売上高は、前年度下期に追加取得した収益物件からの賃料収入の他、テック不動産の仲介案件成約等もあり、増収となりました。 セグメント利益は、仲介手数料等の寄与もあり増益となりました。

(単位:百万円)

区 分	2018/3 2Q実績		2019/3 2Q実績		前年同期比	
	外部顧客への売上高	セグメント利益	外部顧客への売上高	セグメント利益	外部顧客への売上高	セグメント利益
警 備 事 業	7,994	271	8,335	279	341	8
ビル 管 理 事 業	2,763	68	2,685	69	▲ 77	0
不 動 産 事 業	84	37	144	62	60	25
調 整 額	—	9	—	19	—	9
合 計	10,841	386	11,165	430	324	44

(注) セグメント利益の調整額は、セグメント間の取引消去によるものです。

# T E C 単体及び子会社各社の業績

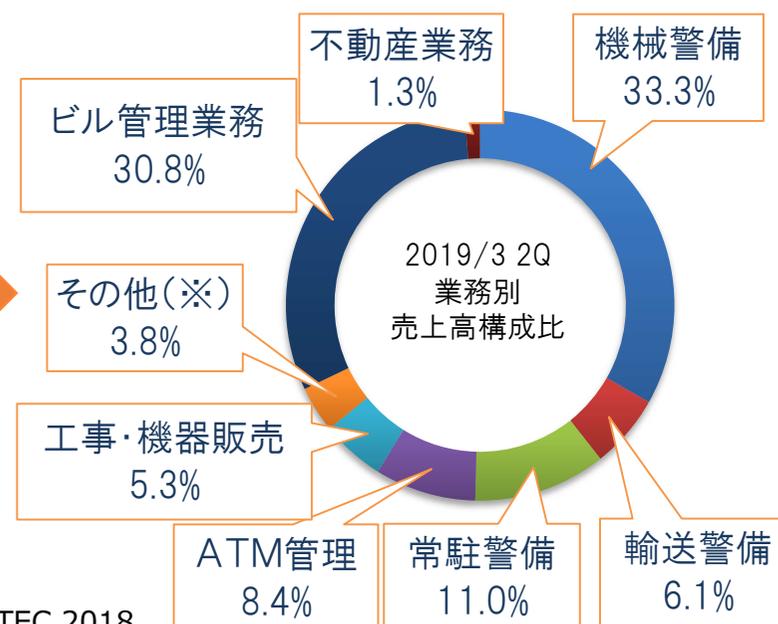
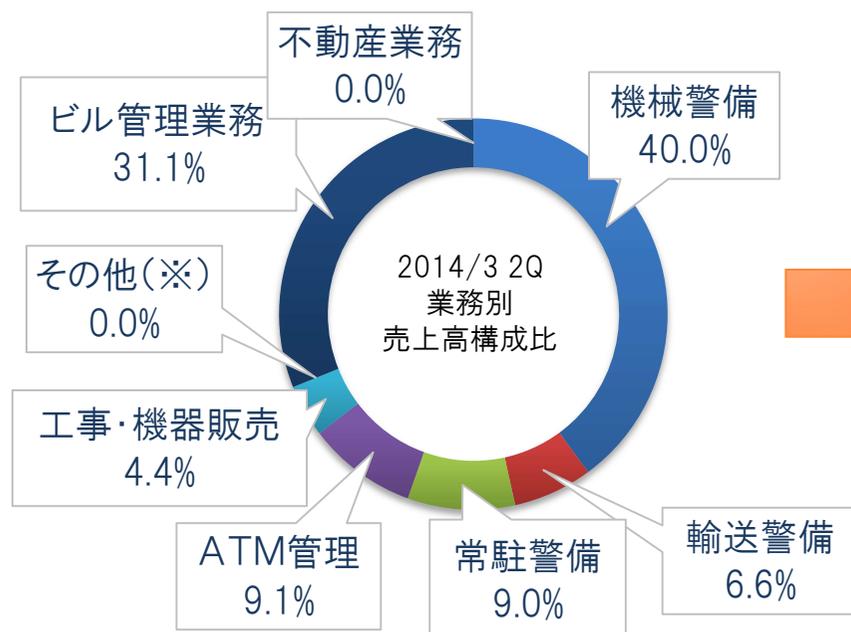
(単位：百万円)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	2018/2Q	2019/2Q	2018/2Q	2019/2Q	2018/2Q	2019/2Q	2018/2Q	2019/2Q
東洋テック	7,807	8,175	243	239	424	450	258	301
東警サービス	726	754	24	43	31	51	20	33
東洋テック姫路	427	484	40	53	40	53	20	33
テックビルサービス	2,141	2,084	53	34	54	35	34	22
大阪フジサービス	651	615	28	36	29	38	21	24
共同総合サービス	442	488	5	16	5	16	3	10
テック不動産	18	31	▲ 16	▲ 10	▲ 16	▲ 10	▲ 11	▲ 7
連結業績	10,841	11,165	386	430	441	506	218	288

# 業務別売上高の状況（連結）

(単位：百万円、%)

	2014/3 2Q	2019/3 2Q	2014/3 2Q同期比	2014/3 2Q同期比 (増減率)
警備業務	6,465	7,587	1,122	17.4
機械警備	3,747	3,710	▲ 37	▲1.0
輸送警備	619	686	67	10.8
常駐警備	840	1,230	390	46.4
ATM管理	851	943	92	10.8
工事・機器販売	408	594	186	45.6
その他(※)	0	423	423	—
ビル管理業務	2,914	3,432	518	17.8
不動産業務	0	144	144	—
合計	9,379	11,165	1,786	19.0



## 連結損益計算書（累計期間）の要旨

**東洋テック**

（単位：百万円、％）

	2018/3 2Q（金額）	2019/3 2Q（金額）	前年同期比	
			金額	増減率
売上高	10,841	11,165	324	3.0
売上原価	8,479	8,693	214	2.5
売上総利益	2,362	2,472	109	4.6
販売費および一般管理費	1,976	2,041	65	3.3
営業利益	386	430	44	11.4
営業外収益	74	97	22	29.6
営業外費用	19	20	0	3.7
経常利益	441	506	65	14.9
特別利益	—	1	1	—
特別損失	48	23	▲ 24	▲ 51.3
税金等調整前四半期純利益	392	484	92	23.5
親会社に帰属する四半期純利益	218	288	69	32.1

## 営業費用・原価費用の状況

東洋テック

(単位：百万円、%)

	2018/3 2Q	2019/3 2Q	前年同期比	
	金額	金額	前年同期比	増減率
人件費	5,114	5,142	27	0.5
物件費	1,622	1,606	▲ 15	▲ 1.0
減価償却費	404	382	▲ 21	▲ 5.4
のれん償却額	61	57	▲ 4	▲ 6.9
賃貸用不動産償却費	5	21	15	254.9
不動産事業費用	12	26	13	105.6
警備外注費	2,839	2,985	146	5.2
機器保守外注費	36	33	▲ 3	▲ 9.8
貸倒引当金繰入	▲ 2	▲ 0	1	▲ 73.8
営業費用合計	10,096	10,255	159	1.6
工事発注費	89	99	9	10.9
機器仕入代	269	380	110	40.8
工事機器費用計	359	479	120	33.4
販管・原価費用合計	10,455	10,735	279	2.7

(ご参考) 営業外損益・特別損益の状況

(単位：百万円)

営業外損益	2018/3 2Q (金額)	2019/3 2Q (金額)	前年同期比 (金額)
受取利息	1	1	▲ 0
受取配当金	49	60	10
その他	23	35	11
<b>営業外収益計</b>	<b>74</b>	<b>97</b>	<b>22</b>
支払利息	8	10	2
その他	11	9	▲ 1
<b>営業外費用計</b>	<b>19</b>	<b>20</b>	<b>0</b>
特別損益	2018/3 2Q (金額)	2019/3 2Q (金額)	前年同期比 (金額)
投資有価証券資産売却益	—	1	1
固定資産売却益	—	0	0
<b>特別利益計</b>	<b>—</b>	<b>1</b>	<b>1</b>
固定資産除却損	45	23	▲ 21
その他	3	—	▲ 3
<b>特別損失計</b>	<b>48</b>	<b>23</b>	<b>▲ 24</b>

(ご参考) 連結貸借対照表の要旨 (資産)

(単位：百万円)

	2018/3	2019/3 2Q	前年度末比	増減率
<b>(流動資産)</b>	<b>13,562</b>	<b>14,416</b>	<b>854</b>	<b>6.3</b>
現金及び預金	5,656	5,896	240	4.3
受託現預金	5,487	5,929	442	8.1
受取手形及び売掛金	1,816	1,761	▲ 54	▲ 3.0
貯蔵品	355	311	▲ 43	▲ 12.3
有価証券	—	200	200	—
その他	246	315	69	28.2
<b>(固定資産)</b>	<b>15,103</b>	<b>15,394</b>	<b>291</b>	<b>1.9</b>
有形固定資産	8,370	8,284	▲ 85	▲ 1.0
建物及び構築物	1,312	1,280	▲ 31	▲ 2.4
機械装置及び運搬具	1,764	1,724	▲ 40	▲ 2.3
土地	4,692	4,692	—	—
その他	601	587	▲ 13	▲ 2.3
無形固定資産	796	714	▲ 82	▲ 10.3
投資その他の資産	5,936	6,395	459	7.7
うち投資有価証券	5,001	5,451	450	9.0
<b>資産合計</b>	<b>28,665</b>	<b>29,811</b>	<b>1,145</b>	<b>4.0</b>

(ご参考) 連結貸借対照表の要旨 (負債・純資産)

(単位：百万円)

	2018/3	2019/3 2Q	前年度末比	増減率
<b>(流動負債)</b>	4,203	4,533	329	7.8
買掛金	369	246	▲ 122	▲ 33.2
1年内償還予定の長期借入金	5	—	▲ 5	▲ 100.0
未払法人税等	335	179	▲ 155	▲ 46.3
預り金	1,307	1,950	643	49.2
賞与引当金	493	480	▲ 12	▲ 2.6
その他	1,692	1,675	▲ 16	▲ 1.0
<b>(固定負債)</b>	3,913	4,098	185	4.7
長期借入金	2,153	2,127	▲ 25	▲ 1.2
繰延税金負債	345	575	230	66.7
厚生年金基金解散損失引当金	795	795	—	—
退職給付に係る負債	296	287	▲ 9	▲ 3.2
その他	322	313	▲ 9	▲ 2.9
<b>負債合計</b>	8,116	8,632	515	6.4
<b>株主資本合計</b>	19,843	20,034	191	1.0
<b>その他包括利益累計額合計</b>	706	1,144	438	62.1
<b>純資産</b>	20,549	21,179	630	3.1
<b>負債・純資産合計</b>	28,665	29,811	1,145	4.0

(ご参考) 連結キャッシュ・フローの要旨

(単位：百万円)

	2018/3 2Q	2018/3	2019/3 2Q	主な内容
営業活動による キャッシュ・フロー	1,132	1,762	741	税調前四半期純利益 484 減価償却費 401 のれん償却費 57 売上債権の減 54 仕入債務の減 ▲ 122 受託現預金の減 200 法人税等の支払額 ▲ 303
投資活動による キャッシュ・フロー	▲ 381	▲ 2,209	▲ 347	有形固定資産の取得 ▲ 290 無形固定資産の取得 ▲ 52
フリー・キャッシュ・フロー	750	▲ 447	393	
財務活動による キャッシュ・フロー	▲ 159	▲ 141	▲ 153	長期借入金返済 ▲ 31 配当金の支払 ▲ 145 自己株式の売却 25
現金及び現金同等物の増加額	591	▲ 588	240	
現金及び現金同等物の期首残高	5,830	5,830	5,241	
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,421	5,241	5,482	

## (ご参考) 経営指標の推移

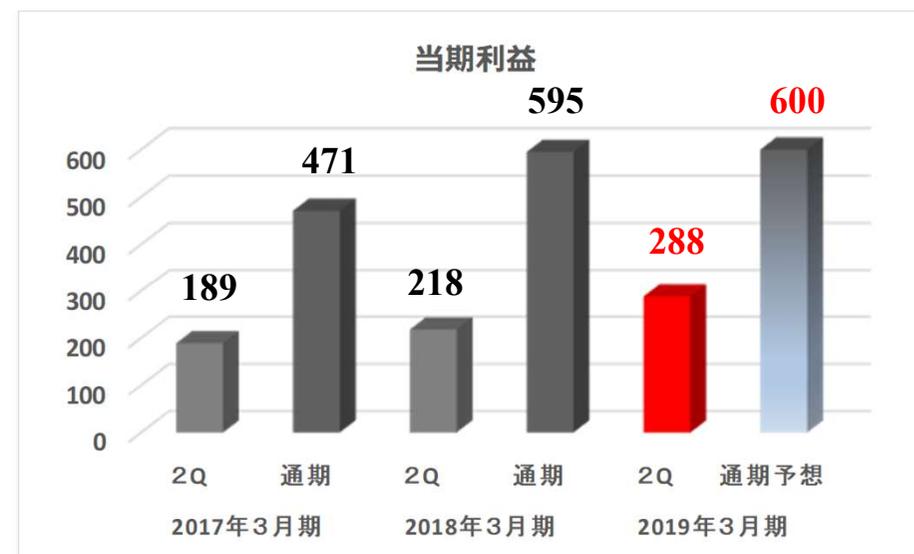
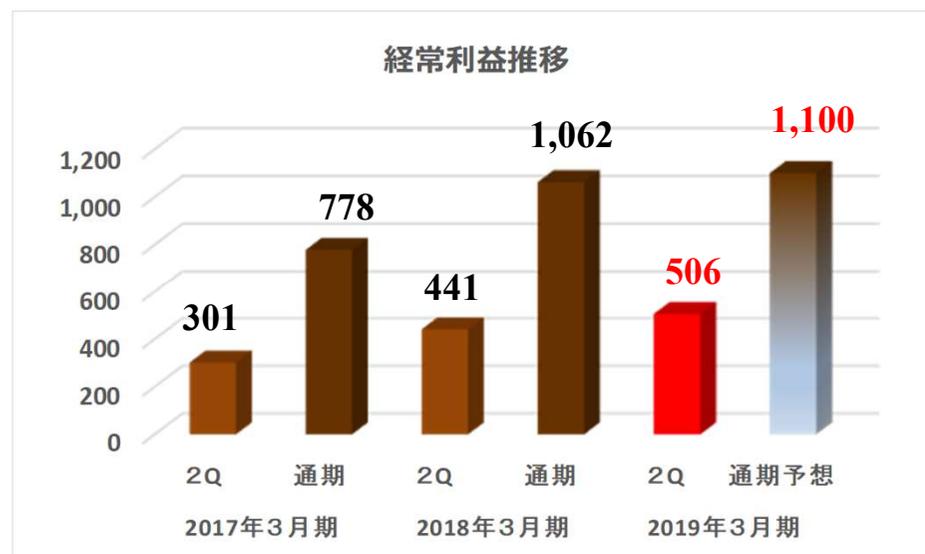
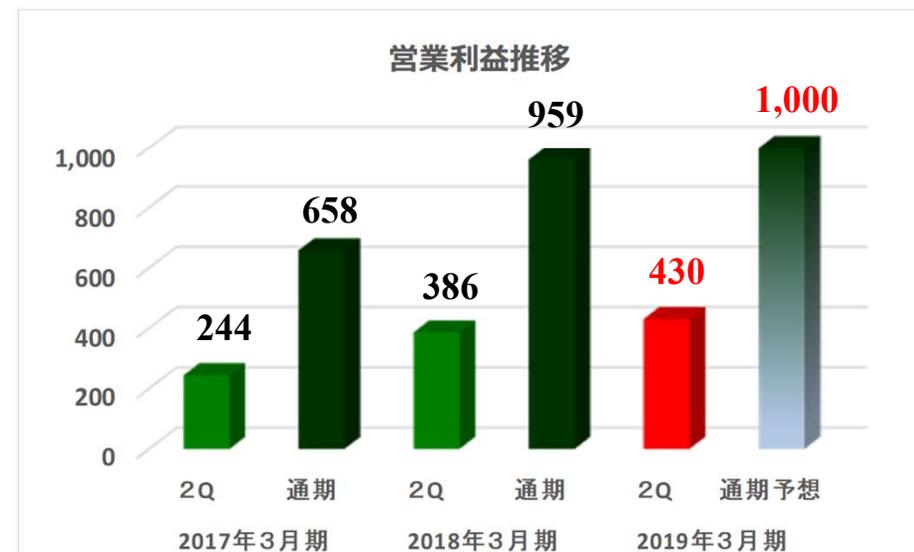
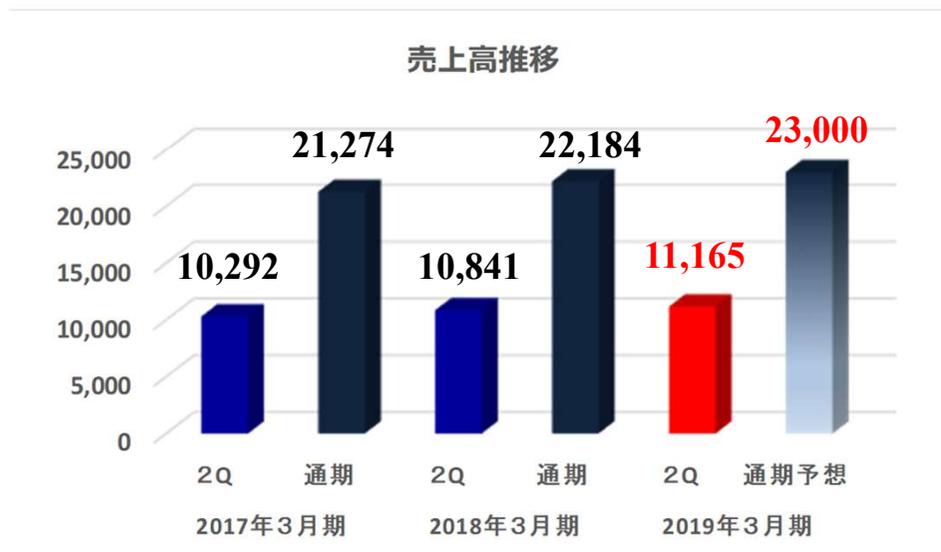
項目		2017/3	2018/3 2Q	2018/3	2019/3 2Q
総資産額	百万円	26,354	27,737	28,665	29,811
純資産額	百万円	19,544	20,171	20,549	21,179
自己資本比率	%	74.2	72.7	71.7	71.0
EPS (1株当たり利益)		44円67銭	—	56円11銭	—
PER (株価収益率)	倍	24.6	—	21.4	—
1株当たり配当金	銭	25円00銭	—	26円00銭	—
PBR (株価純資産倍率)	倍	0.59	0.60	0.62	0.63
BPS (1株当たり純資産)		1,847円04銭	1,902円41銭	1,934円30銭	1,986円16銭
ROE (株主資本利益率)	%	2.4	—	3.0	—
ROA (総資産純利益率)	%	1.8	—	2.1	—
配当利回り	%	2.3	—	2.2	—
配当性向	%	56.0	—	46.3	—

# 2019年3月期第2四半期決算 業績推移



# (ご参考) 業績の推移 (グラフ)

(単位：百万円)



## 2019年3月期 通期の業績見通し



# 2019年3月期通期の業績見通し

(単位：百万円、%)

	2018/3 2Q実績	2019/3 2Q実績	前年同期比	2019/3 下期必要数値	2019/3予想 (公表数値)	2019/3予想 前年同期比
売上高	10,841	11,165	103.0%	11,834	23,000	103.7%
営業利益	386	430	111.4%	569	1,000	104.2%
経常利益	441	506	114.9%	593	1,100	103.6%
親会社に帰属する 四半期純利益	218	288	132.1%	311	600	100.8%
1株当たり四半期 純利益配当金	20円58銭	27円05銭	131.4%	—	56円57銭	—
純利益配当金	12.5円	13.0円	104.0%	—	年間26.0円	—
配当性向	60.7%	48.0%	—	—	—	—

# 株式の状況



## 株式の状況

**東洋テック**

(2018年9月30日現在)

### 大株主上位10社（自己株式665,902株除く）

順位	株主名	所有株式数	持株比率
1	セコム株式会社	2,914,100 株	27.0 %
2	関西電力株式会社	1,535,900 株	14.3 %
3	株式会社近畿大阪銀行	400,090 株	3.7 %
4	株式会社りそな銀行	400,000 株	3.7 %
5	富士通株式会社	377,520 株	3.5 %
6	A I G損害保険株式会社	335,210 株	3.1 %
7	東洋テック従業員持株会	262,861 株	2.4 %
8	株式会社ユニテックス	257,500 株	2.4 %
9	株式会社ディー・ケイ	250,000 株	2.3 %
10	セントラル警備保障株式会社	241,700 株	2.2 %
合 計		6,974,881 株	64.7 %

### 株式数

発行する株式数	20,800,000 株
発行済株式数	11,440,000 株
自己株式数	665,902 株
一単元の株式数	100 株

### 株主数

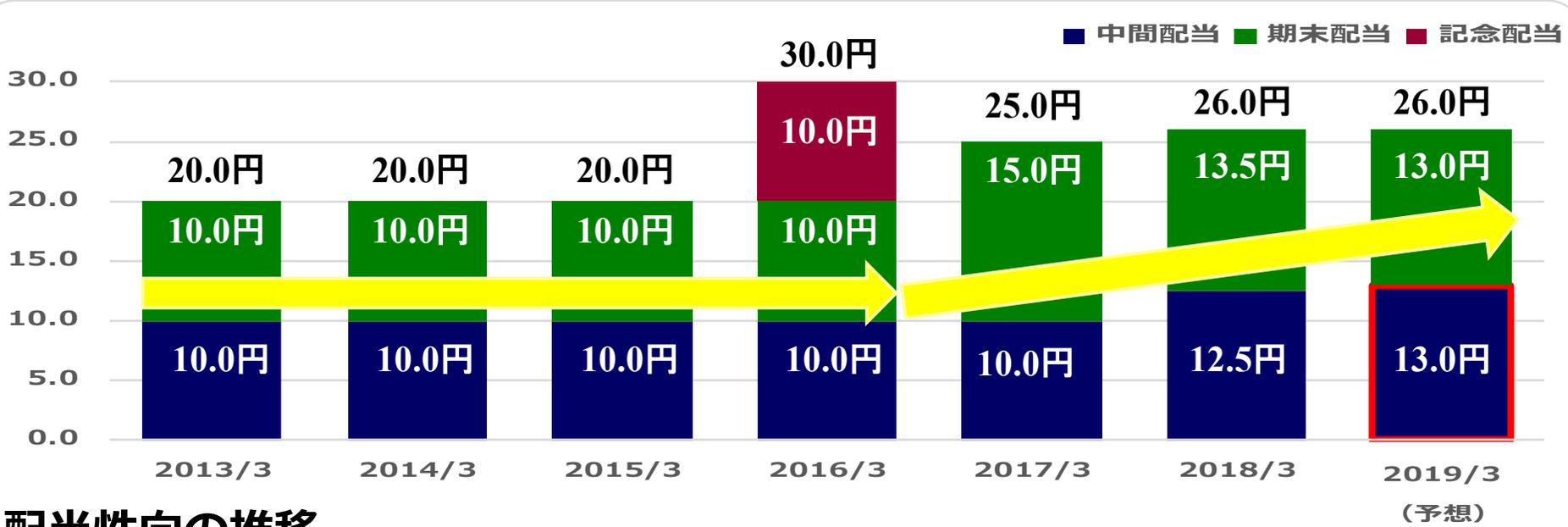
株主数	1,113 名
単元株主数	1,009 名

### 株主数増減（対前年末比）

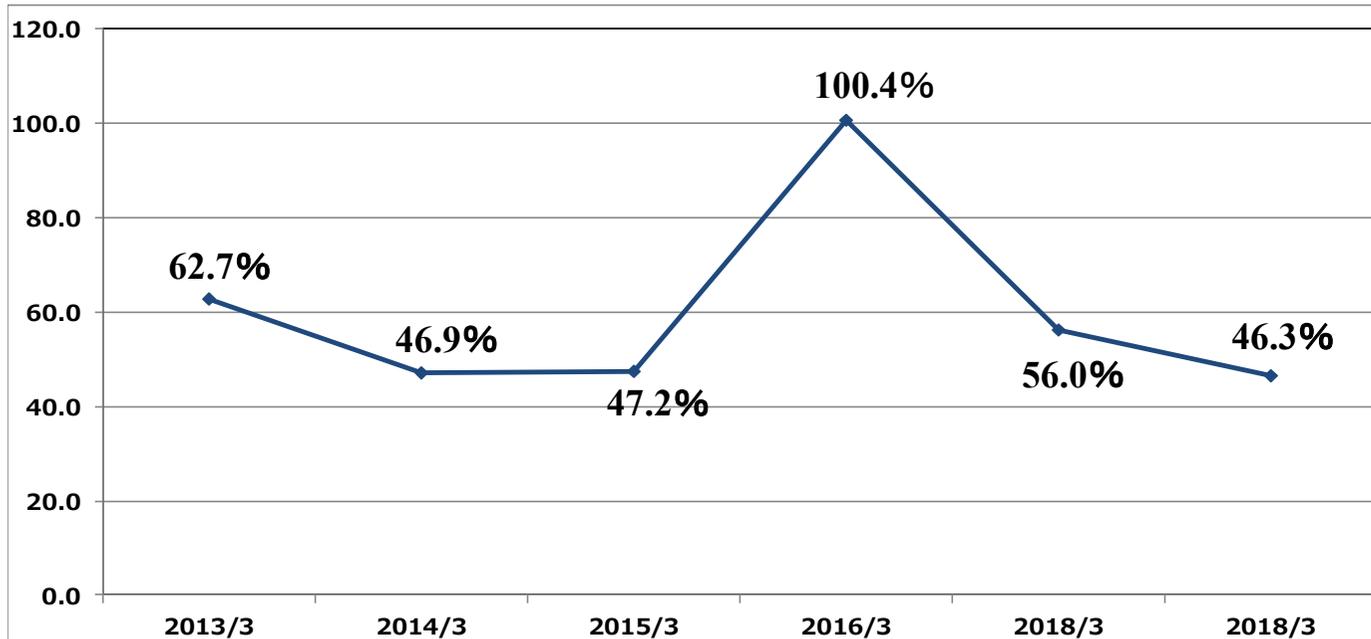
株主数	▲9 名
単元株主数	+4 名

（注）持株比率は、自己株式（665,902株）を控除して計算しています。

# 配当金の推移



# 配当性向の推移



**配当方針**  
 安定配当に加え、  
 業績に連動した配当を  
 目指します。



# 対処すべき課題に向けた取組み



# 『第10次中期経営計画』進捗状況

東洋テック

	2017年3月末 実績 (計画初年度)	2018年3月末 第2Q実績 (計画次年度)	2018年3月末 実績 (計画次年度)	2019年3月末 第2Q実績 (計画最終年度)	2019年3月末 予想 (計画最終年度)
連結売上高	212.7億円	108.4億円	221.8億円	111.6億円	230億円
連結経常利益	7.7億円	4.4億円	10.6億円	5.0億円	11億円
戦略投資額	(中期経営計画期間総額) 60億円				
	期末 15.0円 年間 25.0円	中間 12.5円	期末 13.5円 年間 26.0円	中間 13.0円	期末 13.0円 年間 26.0円



M&Aへ投資

戦略的投資 60億円

25億円投資済み



不動産へ投資

## ◎ 2009年以降の投資実績

### ★ M & A 投資実績

投資件数	11件
投資金額	21億円

### ★ 不動産投資実績

投資件数	4件
投資金額	39億円

業績に  
安定的に寄与

売上高	34億円
営業利益	6億円

## ★業務の省力化に向けてRPA(ソフトウェアロボット)を導入



## ★清掃子会社へ「ベトナム人実習生」を受け入れ

(株)大阪フジサービス

共同総合サービス(株)



増大する女性警備員需要への対応



女性トイレ・授乳室など、男性警備員では、入りづらい施設・設備への警備



ソフトな対応  
親近感のある印象



女性の手荷物検査  
ボディチェック

★女性警備員の積極採用

●現在の体制

- ・ 50名（うち2018年4月新入社員20名）

●来春入社予定新入社員

- ・ 24名（計74名）

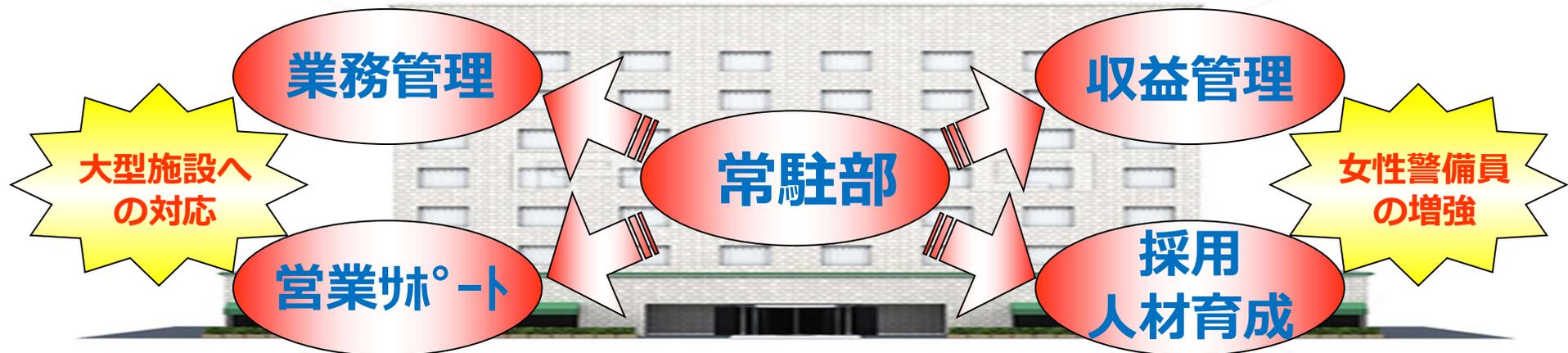
●今後の体制

- ・ 早期に100名⇒200名へと増員させていく予定

女性警備と  
言えば  
東洋テック！

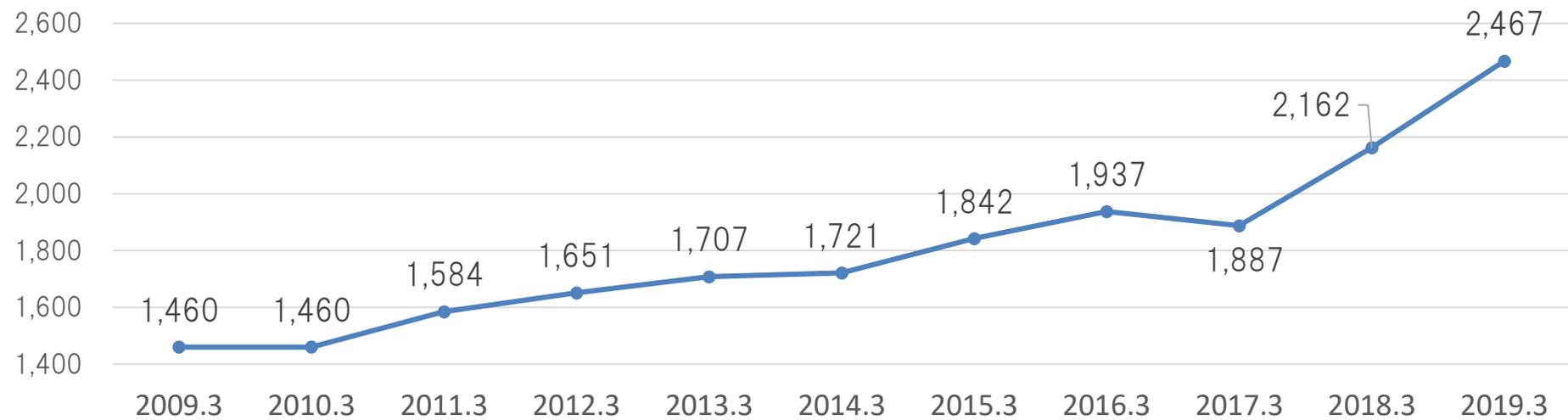
## ★常駐部の新設

- 今後開催される世界規模の大型イベントやI R等の大型施設警備への取組み強化を行い「常駐警備」事業を「機械警備」や「輸送警備」に並ぶ収益の柱へと成長させる。



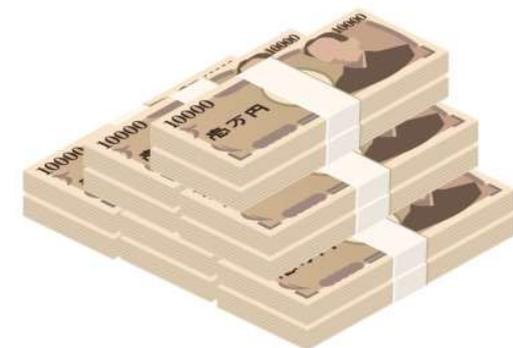
常駐警備売上高推移

(単位：百万円)



## ★資金センターの開設

信用金庫における出納業務を受託



# 当社グループの取組み（トピックス）





## TECグループ S1グランプリ開催

- ★品質向上
- ★サービスの均質化
- ★従業員の士気向上







### **記載内容に関するご注意**

当資料は、あくまでも東洋テック株式会社をより良く理解していただくためのものです。

記載されている内容等は、当社が現時点で把握しているデータ等種々の前提に基づいて作成したものであり、記載された将来の計画数値、施策等の実現を確約したり、保証したりするものではありませんので、予めご了承下さい。

人・街・未来をまもる



**東洋テック株式会社**